

平成 26 年度末 未収金残高の確定について

平成 27 年 7 月に「市政改革プランー新しい住民自治の実現に向けてー」の取組と成果（平成 24～26 年度）をとりまとめましたが、「3（1）ア（オ）未収金対策の強化」については、平成 26 年度実績（平成 26 年度末時点での未収金残高）が算定中であったため、速報値に基づいて達成状況を公表したところです。

このたび、平成 26 年度実績が確定しましたので、「未収金対策の強化」の達成状況を改めて公表します。

「市政改革プラン」の取組と成果（平成 24～26 年度）148 ページ

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

（1）財政規律の遵守と健全な財政運営

ア 歳入の確保

（オ）未収金対策の強化

○平成 26 年度末 未収金残高確定前

□ 3 年間の取組と成果の総括

・平成 26 年度末現在の未収金残高については、**現在速報値の段階ではあるが**、この間の取組により未収金残高は着実に減少する見込みとなっており、取組の成果が現れている。

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
平成 26 年度末の未収金残高 551 億円以下 (対平成 22 年度決算額(700 億円)比 20%以上の削減)	平成 26 年度末 【速報値】 552 億円 ※確定後に別途公表	①



○平成 26 年度末 未収金残高確定後

□ 3 年間の取組と成果の総括

・平成 26 年度末現在の未収金残高については、この間の取組により未収金残高は着実に減少する見込みとなっており、取組の成果が現れている。

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
平成 26 年度末の未収金残高 551 億円以下 (対平成 22 年度決算額(700 億円)比 20%以上の削減)	平成 26 年度末 552 億円	①

※平成 26 年度実績を速報値としておりましたが、確定後においても未収金残高は、552 億円のままとなりました。なお、評価区分及び「3 年間の取組状況」、「課題と今後の方向性」に変更はありません。

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(1) 財政規律の遵守と健全な財政運営

ア 歳入の確保

○平成 26 年度末 未収金残高**確定前**

項 目	成果目標の達成状況			
	目標 (A)	実績 (B)	達成率 (B/A)	評価区分
(1) 財政規律の遵守と健全な財政運営				
ア(ウ)未収金対策の強化	平成 26 年度末の未収金残高 551 億円以下 (対平成 22 年度決算額(700 億円)比 20%以上の削減) ※平成 23 年度決算額 (660 億円)	平成 26 年度末 【速報値】 552 億円 ※確定後に別途公表	99.1%	①



○平成 26 年度末 未収金残高**確定後**

項 目	成果目標の達成状況			
	目標 (A)	実績 (B)	達成率 (B/A)	評価区分
(1) 財政規律の遵守と健全な財政運営				
ア(ウ)未収金対策の強化	平成 26 年度末の未収金残高 551 億円以下 (対平成 22 年度決算額(700 億円)比 20%以上の削減) ※平成 23 年度決算額 (660 億円)	平成 26 年度末 552 億円	99.1%	①

※平成 26 年度実績を速報値としておりましたが、確定後においても未収金残高は、552 億円のままとなったため、達成率、評価区分とも変更はありません。